



速報: COVID-19ワクチンと妊娠

COVID-19ワクチンと妊娠に関して間違った情報が広まっています。判明している事実をいくつかご紹介します!

COVID-19ワクチンは妊娠前、妊娠中そして妊娠後も安全です。

妊娠中のワクチン接種は深刻なCOVID-19の病気から守るために、American College of Obstetricians and Gynecologists (ACOG、米国産科婦人科学会) およびCenters for Disease Control and Prevention (CDC、疾病管理予防センター) により、推奨されています。

妊娠している女性は、COVID-19が発症した際に深刻な病気や合併症のリスクが高くなります。

妊娠中または妊娠後にCOVID-19に感染し重症になると、呼吸器を必要とする入院や妊娠中の合併症、早産や死産のリスクが高まります。

COVID-19ワクチンが先天性欠損、流産、早産や死産などの合併症を引き起こすことを示唆する証拠はありません。

しかし、COVID-19の病気により、かかる合併症を引き起こすことがわかっています。

授乳中にワクチンを接種しても安全です。

授乳により、生後6か月が経過してワクチン接種の対象となる前のお子様にCOVID-19の感染からの保護を守る抗体を移行することができます。

参考資料:

妊娠中または授乳中のCOVID-19ワクチン([cdc.gov](https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/recommendations/pregnancy.html)) | <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/recommendations/pregnancy.html> (英語、スペイン語、韓国語、ベトナム語、中国語のみ)

COVID-19ワクチンと妊娠: 知っておくべきこと | Johns Hopkins Medicine | <https://www.hopkinsmedicine.org/health/conditions-and-diseases/coronavirus/the-covid19-vaccine-and-pregnancy-what-you-need-to-know> (英語のみ)